

秀嶺天

佐世保市立
相浦中学校通信

発行人 宮原

第13号

H29.10.11

校訓

今日も、
明るく、
誠実に

後期の三つの目標

昨日、後期始業式を行いました。それぞれの学年代表による後期に向けての抱負が発表されました。

三年生の松村萌香さんは、受験に向けて頑張りたいこと、行事に積極的に取り組みたいこと、親孝行を行うことの三つの目標について、二年生の内野美波さんは係活動をしつかり行うこと、学級のみんなをしつかりまとめることの二つの目標について、一年生の大石

みなみさんは

学校のモットーである「凡

事徹底」をし

つかり実践す

ることをそれ

ぞれ発表しま

した。それぞ

れが今の現状

を理解し立派



な目標設定だと感じました。

今後、目標の実現に向けて頑張つてほしいと考えます。

その後の校長講話で私は生徒に三つの目標について示しました。

その三つは次の通りです。

一 元気で明るく過ごす。

・校訓「今日も明るく誠実に」の実践

一 凡事徹底の実践

・特に前期の反省点である授業一分前の黙想、清掃の時間の「黙掃」の徹底

一 一人一人又は学級が夢、憧れ志を持って成長する。

・自分が将来、どんな職業について何を行い、何を達成するか考える。

以上のことを日々実践すること
で充実した後期になることを期待
します。

全国学力学習状況調査の分析

四月一八日、全国学力学習調査が三年生で実施されました。実施された調査は国語A（知識）国語B（活用）数学（知識）数学B（活用）の学力検査と生徒の学校及び家庭の生活状況の調査です。

本校生徒の状況は、各教科で平均正答率がほぼ全国平均と同じです。昨年度と比較すると改善傾向にあり増す。

本校では結果を分析し、今後の授業や個々の生徒の指導に生かしていこうと考えています。

生活状況調査の集計結果では、本校生徒は、昨年と同様に学校に行くのが楽しいと感じている生徒が多いということが分かりました。しかし、生活習慣の質問では「決められた時間学習する」「決められた時間に寝ている」で「していない」と答えた生徒の割合が多いことが分かりました。生活習慣は学力向上に直結します。やはり学校でも家庭でも規則正しい生活を行うことが重要だと考えます。本校生徒の学力向上に向けて次のような取組が必要であると考えています。

学校では

一 相浦中学びにスタイル、ほめ、認め生徒の良さを引き出す授業を実践する。授業中に自分の考えをまとめ、それを発表する機会を意図的に設定し言語活動の充実を図る。また、各授業の中で最後に学習の振り返りの活動を行いまとめて定着を図る。

二 授業形態を工夫し、互いに学びあう姿勢を確立し繰り返し学習すること

ことで基礎基本の定着を図る。

三 放課後や長期休業中の不十分な生徒に対しての指導の実践。

家庭では

一 学力の向上は家庭での生活習慣の確立が重要です。早寝、早起き、朝食の実施。基本的な生活習慣を確立させることも学力の向上には不可欠です。起きる時間、寝る時間、学習する時間を固定化することが大切です。

二 翌日の学習準備は前日に確実にしてい忘れ物をしない習慣を身につける。また、毎日、学校で習ったことの復習や翌日の予習を行う習慣を身につけてほしいと考えます。このことを習慣化し常態化することで必ず学力は向上します。

三 子どもの情報機器の取り扱い方が学力に大きく影響します。その使用は三〇分〜一時間で終わらせる。また、時間を決め継続して家庭学習に取り組ませ、勉強中心の生活を送らせてください。

学力向上を果たすには、子どもが本校のモットーである「凡事徹底」を学習面でも実践すること。授業に集中し毎日の予習、復習を行うことを日々実践することです。

また、学校・家庭が連携し、子どもを見守り支援していく事が不可欠であると考えます。